なせば成る なさねば成らぬ 何事も

置賜広域行政事務組合消防本部 片山清子

なせば成るの精神を説いた上杉鷹山公の銅像

置賜（おきたま）広域行政事務組合消防本部は山形県の南部に位置しており、四方を山々に囲まれている。南に鎮座する吾妻連峰は豊かな自然財産を有し、夏は登山、冬はウインタースポーツと訪れる人々を楽しませてくれる。管内には１級河川最上川が流れており、庁舎から見える山容水態は四季折々の美しさを見せてくれる。

組織形態

当消防本部は、平成24年に米沢市、南陽市、高畠町、川西町の４消防本部が広域合併し誕生した消防本部である。

管内の人口は約15万人。１本部、４署２分署１出張所216名（条例定数218名）の職員で構成され、政令防火対象物5,001件、危険物施設978施設を管轄している。

平成26年度に開催した東北消防長会予防広報講習会には多数の参加をいただき、また、平成29年度には緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練でもご協力いただき重ねて御礼申し上げたい。

予防業務の概要

当消防本部の予防業務体制は、本部予防課（予防課長以下７名）に予防指導係と危険物保安係が設置されており、その査察区分は屋内消火栓・スプリンクラー設備が設置されている防火対象物を予防課が、その他の対象物は各消防署（分署・出張所も含む。）の担当となっており、各署の予防係員は隔日勤務員が２交代制をとり従事している。

広域合併後の違反処理

平成24年に広域合併した当消防本部の違反処理の実情は、危険物施設の違反処理が６年間で15件、防火対象物に対しては平成30年度から違反処理に取り組み始めた状況で、それまでは重大違反に該当する事案も立入検査での通知書交付にとどまっている状態であった。

個々としての向上

広域合併後は、それまで参加できていなかった違反是正に関する研修会や予防広報講習会

に参加できるようになり、技術や知識を持ち帰れるようになった。

様々な研修を受講する機会が増え、個々の職員の質は向上している。

だが、違反是正に携わる職員、組織には、どこかまだ、「違反処理は特別なもの」という風潮が消えていないのが現状だった。

山形県の取り組みから

平成30年度から、山形県消防長会主催の違反是正事例研究会の取り組み方が変わり、各消防本部が現在抱えている違反事案を持ち寄って研究し、違反是正アドバイザーから助言を受けるスタイルとなった。

また、各消防本部が是正に苦慮している事案を、違反是正アドバイザーに相談できる「個別相談」の時間も設けられた。

研究会を通じ、県内の他の本部も当本部と同じような違反事案に苦労し悩みながら違反処理に移行し、是正に至っていることに刺激をもらい、危険な違反対象物を根絶するために粛々と実務を進めていく目標を共有できた。

違反是正の推進に係る実務研修

私は、平成30年度に山形市消防本部での違反是正の推進に係る実務研修（区分Ｂ）の受講機会をいただいた。

時期同じくして、所属部署では屋内消火栓設備の機能不良事案への警告書を交付していた。私は、判断し実行したことへの後ろ盾が欲しい気持ちがあった。実測の方法、記録写真のポイント、法令やマニュアルには明記されていない実務の部分に自信を持ちたかった。

不安がなく淡々と違反処理をしているわけではない。経験のないことへの不安、法令根拠のない実務的なところに自信と確約・確信がほしかった。

研修に多くの期待を持ち、臨んだ。

気風改革

受入れ消防本部では、実際の違反処理の事案に同行させていただき、生の違反処理現場で実務を体感できたことは大変貴重な経験となった。

また、違反是正の担当者としての心構え、物事の考え方も学んだ。

川中島合戦 謙信・信玄一騎打ち（三太刀七太刀）

消防本部庁舎・通信指令センター・米沢消防署の車両

職員が同じ方向を見、個々が使命感をもち、任せられた任務を遂行する。個の力を引き出し、互いの存在を認め、組織（チーム）に必要とされていると認識させる。その結果が違反是正へとつながる。

理論・精神論だけでは行動力は生み出さない。個を必要としていることを言葉で表現し、適切な負荷（任務）を与える。それはチーム全体にもだ。

５日間の研修を終え、すぐに違反内容を組織で共有するため、各署で覚知した案件を予防課で吸い上げ、進捗状況と指導内容の管理と集約をした。

まずは、とことん真似をする

質問調書の取り方を実務研修で学んだ方法に変えた。以前は録取と記録を１人の職員が担当していたが、録取者と記録者の２人に分担し、録取者は淡々と聴取し、記録者は録取者が聴取した内容を様式に清書していく。また、聴取を一問一答方式で行えるように形式化したものを事前に準備した。

これまで、いくら正確に録取したつもりでも、１人で録取と記録を担当する負荷が大きすぎ、更には供述者の会話内容にまどわされてしまい、核となるところを聞き逃していたりしていた。

実務研修で学んだ方法に変えたことで、軸がぶれることなく淡々と聴取していくことができ短時間で終えることができた。

また、その場で質問調書を作り上げ署名をもらうことで、時間の短縮と何度も関係者と接触しなければならないという職員の心的ストレスの軽減も図れた。

組織一丸となっての実戦

無窓階になったことによる屋内消火栓設備の未設置事案の違反調査を予防課と消防署合同で行った。

違反処理の経験がある予防課の職員と未経験の消防署の職員がペアを組み、質問調書、実測、記録写真の撮影を行った。

質問調書の作成方法、無窓階の状況を立証する記録写真の撮り方など、実務研修で学んだ要領と技術の共有を行った。

消防署担当者の提案でパソコンを現場に持ち込み聴取内容を記録し、車両に装備しているプリンターで調書の作成を行った。これまで以上

に違反処理をスピード化し、携わる職員の負担軽減にもつなげることができた。

是正

違反調査をする、それだけで長期違反が是正された案件もある。警告書を交付した後も何度も何度も足を運び、進捗状況の確認をして是正された案件もある。

どの案件も本気で取り組むことに意味がある。今までよりも一歩踏み込めば、関係者と接触するだけでも是正につながるなにかが掴み取れる。

物事の本質と行動の意義を理解すれば違反処理はとってもシンプルなものだ。

支援と管理は必須であるが、ターゲット(関係者)、ペース、留保条件、鉄の掟(履行期限)以外のことは担当者の裁量に任せ、違反処理は窮屈なものではないという認識も共有すべきかもしれない。

実力以上のことはできない

精神論を説くつもりはない。そんな身分でもない。ただ、自分たちの身の丈にあった戦略・方法で臨むことに本当の意味がある。良いものは取り込む、そして自分たちの身の丈にあったやり方に練りこみ使いこなす。使い方の分からない武器を振りかざすだけでは自分たちが傷つき、相手に立ち向かうことすらできない。

自分を律して

違反処理に関する個々の職員レベルが同じでなくとも、同じ方向を見、使命感を持って邁進すれば、それが組織全体の当たり前になり、底上げにつながる。

誰かが声を上げ、その者が熟考し全体を導くチームのリーダーになる。それが日常業務として違反処理をしている予防課の職員でなくとも、高度な自主(自立・自律)ができる者ならばそれでいいのではないか。

付託と負託

よく予防業務の研修に参加すると【市民の負託に応える】と耳にします。私自身、この原稿を書くまで「付託」と「負託」の二つがあることも知らなかったし、よく意味が分からず聞いていました。この機会に調べてみたら、とてもいい意味でしたので、紹介させていただきます。

「付託」とは、別の人に頼み任せること。

「負託」とは、別の人に引き受けさせて任せ、さらに責任などをおわせること。

圏域住民から任された責任は大きい。

虫の目・鳥の目・魚の目

実務研修では多くの言葉に勇気づけられ感銘を受けました。その中でも山形市消防本部鈴木予防課長が研修のまとめとして話された言葉が今の私の業務の心得として生きているので紹介させていただきます。

(1)虫の目(視点の深さ)

虫のように小さな目で物事の状況を見てみる。

予防課と消防署の合同での違反処理

天元台高原スキー場

⑵鳥の目（視野の広さ）

鳥のように上から俯瞰して物事の状況を見てみる。

⑶魚の目（視点の長さ）

魚の特徴を生かした能力です。その能力とは、「潮の流れを読むこと」、つまり時代や市場の流れを読むことです。

私感

予防業務に従事してまだまだ日の浅い私がだいぶ偉そうな文章をずらずらと書き上げました。

【ドＳ】や【変人】と素敵な呼び名を同僚からつけてもらいました。私にとっては光栄な呼び名です。一見、パワハラのように見て取れますが、今まで関心が向かなかった予防課の業務に『予防課が何かやっているぞ。』と注目してもらえた結果ではないでしょうか。

組織が同じ方向を見ていくためにも、違反処理に動き出している何かを察知してもらうことがまず大事かと思います。

そして、そこからそれを真似てもらい自分たちの色に調合し、予防課にフィードバックしてもらう。それが組織として進化していく道筋になるのではないでしょうか。

なせば成るなさねば成らぬ何事も
成らぬは人のなさぬなりけり

「強い意志を持っていれば、どんなことでもできないことはない」ということを説いた米沢藩９代藩主上杉鷹山公の言葉です。

査察①

査察②

どんな場面にも当てはまる言葉ですが、違反処理についてはやけにこの言葉が似あう（？）と思います。

実務研修を受けて本気で思うことは、【変人】と呼ばれようが【ドＳ】と呼ばれようが誰かがやる気になってやれば前に進む、それだけです。

御礼

この度、仙台市消防局の平井克典アドバイザーからフェスク寄稿という身に余るお話をいただきました。

違反処理を始めたばかりの置賜広域が何を書いて良いのか試行錯誤しましたが、今まで以上に予防業務が味わい深く、まだまだ伸びしろのある分野だということを再確認することができました。

本当にありがとうございました。

消防人として満遍なく業務をこなせるに越したことはありません。

ただ、救急には救急救命士がいるように、救助には特別救助隊がいるように、予防行政も日々進化し、それに対応する予防業務に特化した変人がいてもいいのかなと思います。

ここに書いたことは組織の考えとは違うものになっているかもしれません。ただ、こんなことを思っている職員が組織にいるのも面白いのではないかなと思います。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。